

行動倫理規範

慎重なコミュニケーションに関する方針

倫理および法令のコンプライアンス | ISSUED: May 1, 2014 – REVISED: December 4, 2024

この方針は、全てのコミュニケーションにおいて慎重でありかつプロフェッショナルであることの重要性を、Magnaの代表として行為するその他の者が理解する助けとなることを意図しています。そうすることで、不適切なコミュニケーションによる潜在的な悪影響から保護されます。

この方針は、Magna International Inc. 及びそのグローバルな全ての事業運営グループ、部門、合併事業及び他のオペレーション（以下、「Magna」と総称します）に適用されます。本指針は、従業員、役員、取締役、コンサルタント、代理人など（「Magna関係者」と総称）、Magnaのために行動しているすべての人々にも適用されます。

はじめに

Magnaでは、すべてのMagna担当者がすべてのコミュニケーションにおいてプロフェッショナルで明確であり、複雑さ、緊急性、繊細さなどの要因に基づいて最も効果的なコミュニケーション方法を慎重に検討することを勧めます。本方針の目的上、コミュニケーション手段には、対面およびバーチャル会議、電話、電子メール、およびさまざまな電子プラットフォーム上でのその他のバーチャルコミュニケーションが含まれます。各伝達方法は、一定の目的に適合する場合があります。どのタイプが状況に最も適しているか、時間をかけて検討してください。

書面で伝える場合は、その方法がその案件及び対象者にとって適切であることを確認してください。時間をかけてトピック全体を考え、単語がどのように解釈されるかを予測します（評判の観点から、法的手続きにおいて、または他の方法で）。プロ意識を持ち、慎重を期し、誇張や不適切な憶測を避けてください。

書面によるコミュニケーション

書面で連絡する際、以下の事項を確認してください：

- 対象ユーザーを把握し、検証します。通信の受信者を再確認し、電子メールアドレスを注意深く確認し、「全員に返信」機能を使用することに注意してください。メッセージの各受信者の役割を理解し、添付ファイルを含む必要以上の情報を送信しないでください。社内メッセージはMagna内に留めること。
- あらゆるコミュニケーションでプロ意識を持ちます。メッセージの内容及び調子が適切であることを確認してください。通信が外部に開示された場合、メッセージが文脈を無視して受け取られた場合、どのような反応があるかを考慮してください。
- 競合他社との連絡の際には格別な注意を払うこと。価格設定、入札、市場または顧客の割り当て、またはMagnaの独占禁止および競争に関する方針に違反するその他のトピックについては議論しないでください。詳細については、Magnaの[反トラストおよび競争に関する方針](#)を参照してください。

- 該当する場合は、プライバシー、機密保持、および法的特権（または開示からのその他の免責）を尊重します。管轄区域によって異なりますが、法的に特権のある通信は、一般的に、お客様と社内または外部の弁護士との間の通信であり、潜在的または進行中の訴訟、または法的助言の要求または受信に関連する可能性があります。機密情報の詳細については、Magnaの[機密情報方針](#)を参照してください。
- 適切な通信プラットフォームを使用します。会社の電子メールアカウントを使用した電子ビジネスコミュニケーションのみを行います。個人の電子メールアカウント、テキストメッセージング、SMSまたはメッセージングアプリ（WhatsApp、Viber、LINE、または同等のものなど）、ソーシャルメディアアカウント（Facebook、LinkedIn、または同等のものなど）、または一時的な通信プラットフォーム（SnapChat、Telegram、Messenger、Wickrなど）を使用して、実質的なビジネスコミュニケーションを行わないでください。詳細については、Magnaの記録および情報ガバナンス方針を参照してください。

会社情報

MagnaまたはMagna関係者の業務に関連するほとんどすべての形式の通信は、企業情報（紙、電子、音声、その他の形式にかかわらず）と見なされることに注意してください。企業情報はMagnaの事業にとって重要であり、社内外（内外部の監査人、政府機関または捜査官、訴訟およびその他の法的手続きにおける証拠を審査する弁護士を含む）で確認される場合があります。

「オフレコ」の会話や通信がなく、削除されたものはすべて復元できると仮定します。

企業開示

Magna関係者は、職務遂行上必要な場合を除き、（情報を知る必要のない友人、親戚、その他のMagna関係者を含む）を構成する会社の事項について、いかなる者とも話し合ってはなりません。さらに、許可されたMagnaの広報担当者のみが、メディア、業界の専門家、またはMagnaの株主と関わるべきです。詳しくは、[Magnaの企業情報開示方針](#)及び[Magnaメディア方針](#)を参照してください。

データのプライバシー及び保護

通信で共有される個人情報と保護し、Magnaのデータプライバシー方針に定められているように、データセキュリティインシデントのリスクを軽減するために、必要な情報のみを許可された担当者にも開示します。詳細については、Magnaの[データプライバシーおよび保護方針](#)を参照してください。

役に立つヒント

以下については慎重に...

- 競争上機密性の高い情報を含む、又は、価格、入札、市場若しくは顧客の割当て、又は、Magnaの独占禁止・競争方針に違反しうるその他の事柄に関するコミュニケーションといった、競争を緩和する目的で、競合他社と調整する試みと解釈されうるコミュニケーション。
- 法的問題を引き起こす可能性のある通信。コミュニケーション中のピックが法的な問題を惹起しているかどうか不明な場合、グループ、地域、または企業の法務に連絡し、連絡を「特権と機密」としてマークしてください。
- ソーシャルメディアを介したコミュニケーション。Magnaのために行動する従業員およびその他の者は、ソーシャルメディアを含め、Magnaを中傷したり、機密情報を開示したりしないことが求められます。ソーシャル・メディア経由で行われたコミュニケーションは、ユーザーの設定にかかわらず、私用とみなされてはなりません。詳細については、Magnaの[グローバルEメール、インターネット/イントラネット、およびソーシャルメディア方針](#)を参照してください。

以下の事項は決して行わないこと...

- 過剰な約束、憶測、誇張。事実に基づいて、仮定しないでください!
- 自分の知識や専門分野以外の意見を述べます。自らが実際に知識を有する情報を明確に述べること。自らの知識又は専門外の分野に対応する際は、他の者を関与させること。
- 気持ちが動揺しているときにメッセージを送ること。むしろ、メッセージのドラフトを一定期間保存して、見直してから送信すること。セカンド・オピニオンを得ることを検討する。
- 他の利害関係者と否定的に話し合います。
- 差別的な又は嫌がらせとなるメッセージを送信又は転送すること。このようなコミュニケーションを受け取った場合は、上司またはマネージャー、人事部、グループまたは地域の法務、内部監査、または倫理および法令のコンプライアンス部門のメンバーに支援を求めてください。

その他の情報

詳細な情報やアドバイスについては、グループまたは地域の法務顧問、Regional Compliance Officer、倫理および最高コンプライアンス責任者、またはコーポレートコミュニケーションおよびメディア関係担当副社長にお問い合わせください。

Issued:	May 1, 2014
Revised:	December 4, 2024
Next Review:	Q4 2027
Issued By:	Ethics & Legal Compliance
Approved By:	Magna Compliance Council